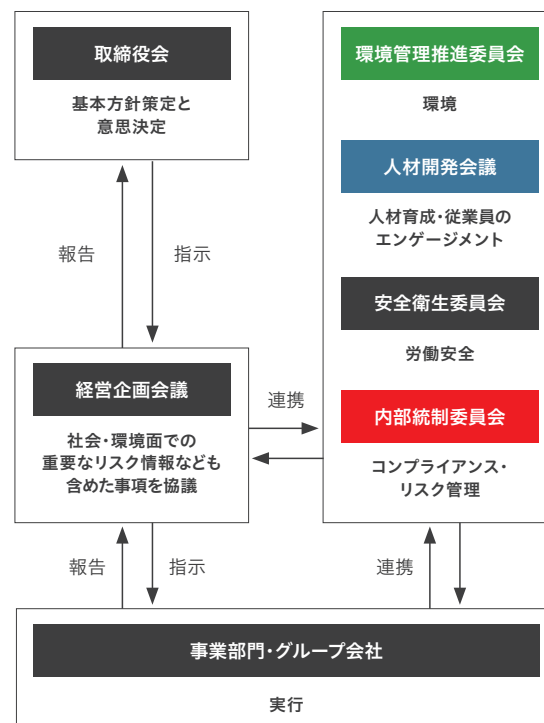


サステナビリティ戦略

基本的な考え方

三社電機グループは、パワーエレクトロニクスと創造力で製品開発を行うなど事業を通じて社会課題解決に貢献することで、企業価値の向上と持続可能な社会の実現を目指します。また、当社グループの事業活動が社会や地球環境に与える影響に十分配慮して行動するとともに、ステークホルダーの皆様との信頼を築くように努めます。この取り組みを通じて、持続可能な経営を実現し、社会全体の発展に貢献することを基本的な考え方としています。

推進体制



サステナビリティ戦略のポイント

当社グループは、持続可能な社会の実現と企業価値の向上に向けて、サステナビリティに関する明確な目標を定め、重点分野ごとに具体的な施策を推進しています。

目標と主な施策

環境

[P26]

2030年度までにCO₂排出量を2013年度比で46%削減

▶ 再エネ導入、省エネ設備化

2025年度にScope3算定開始(カテゴリ4・11)

▶ 調査・手順整備、範囲拡大

2026年に製品使用によるCO₂約3.5万t削減

▶ 高効率製品開発(SiC半導体、表面処理用電源等)

人材

[P28]

2030年に女性管理職10名・リーダー職40名

▶ 登用推進、研修・意識改革

中期経営計画期間中に次世代リーダー育成

▶ 教育制度強化、評価見直し

働き方改革により労働生産性向上

▶ 柔軟な働き方(在宅・短時間勤務)、業務の自動化

男性育児休業取得の促進

▶ 制度の周知、管理職への働きかけ

人権

[P30]

2025年度～2026年度に人権デューデリジェンス実施

▶ 人権方針策定、教育・啓発

サプライチェーン全体で人権・環境への配慮を徹底

▶ 「三社電機グループ調達方針」に基づく仕入先評価